

やまがた環境展2023

◎ 開催日

令和5年10月14日及び10月15日

◎ 開催場所

山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」
(山形市平久保100)

◎ 主な内容

- ・ 著名人によるトークショー
出演：気象予報士 くぼてんき氏・久保井朝美氏
- ・ 出展企業・団体による情報発信 (52社・団体)
- ・ 各表彰式
- ・ おもちゃの交換会「かえっこバザール」
- ・ エコライフやまがた2023 (協賛事業)
- ・ エコカップやまがた2023 (協賛事業)
- ・ スポGOMIやまがた環境展2023大会 (協賛事業)
- ・ やまがた新車フェスティバル2023 (協賛事業)
- ・ マイカー点検フェスティバル2023 (協賛事業)

◎ 参加者数

- ・ 来場者数：合計14,073人
- ・ 多くの方に楽しみながら、環境に対する理解を深めていただいた。



「もったいない山形協力店」
食べきり運動【新規】

◎ 目的

飲食店・宿泊施設の食品ロス削減の取組みを後押しするとともに、県民に対して食品ロス削減の普及啓発を図り、県民・事業者等による廃棄物の発生抑制につなげる

◎ 実施店舗

もったいない山形協力店のうち、希望した飲食店・宿泊施設 119店舗

◎ 実施内容

県が作成した、小盛メニュー、食事量の調整、持ち帰り等の各店舗の取組みを見える化するためのPOPスタンドを配布し、お客様に「もったいない山形協力店」であることや、各店舗の取組みを知っていただくとともに、料理の食べきり呼びかける

◎ 配布物 (1店舗あたり10セットまで)

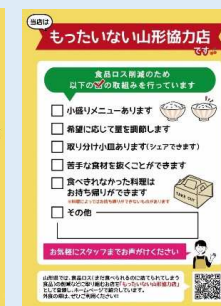
- ・ POPスタンド
- ・ POPスタンド挿入用チラシ (2種類)

◎ 実施時期

【飲食店】令和5年10月～【宿泊施設】令和5年12月～

◎ 成果等

参加店舗からは、「POPがあることでお客様が要望を伝えやすくなり、ごみの量も削減できた」等の評価を得ている



「てまえどり」の普及啓発

◎ 目的

買ってすぐに食べる場合には、商品棚の手前に並べられている販売期限が近い商品を積極的に選ぶという「てまえどり」について、食品小売店舗等で消費者に啓発し、消費者行動を意識づけ、食品ロス削減の取り組みを広げていく

◎ 実施店舗

もったいない山形協力店のうち、希望した小売店・スーパー・コンビニエンスストア等 766店舗

◎ 実施内容

県が作成した「てまえどり」の啓発物（POP、ポスター）を配布し、消費期限等のある食品（牛乳、納豆、豆腐、パン、おにぎり、弁当など）の棚に掲示する

◎ POPの仕様及び配布個数

- ・スーパー用：耐水B8カードタイプ（H64×W91mm）
1店舗あたり60枚
- ・コンビニ用：耐水レールPOP（H40×W200mm）
1店舗あたり20枚

◎ 実施時期

令和5年10月～令和6年3月

◎ 成果等

参加店舗からは、「期限の近い商品から取ってくださるお客様が増加した」、「従業員の意識の向上につながった」等の評価を得ている



県機関でのフードドライブ【拡充】

◎ 実施場所及び期間

実施場所	期間	参加者
県庁(県庁舎)	①9月6・7日 ②1月17・18日	県民・庁舎職員
村山総合支庁 (本庁舎・村山保健所 西村山・北村山地域振興局)	①8月22～25日 ②1月23～26日	県民・庁舎職員
最上総合支庁 ①管内市町村庁舎 ②本庁舎	①10月2～17日 ②10月18・19日	①市町村職員 ②県民・庁舎職員
置賜総合支庁 (本庁舎・西置賜地域振興局)	①8月29・30日 ②2月14・15日	県民・庁舎職員
庄内総合支庁 ①小真木原総合体育館 (環境フェアつるおか2023会場) ②本庁舎	①9月24日 ②10月25・26日	①県民 ②県民・庁舎職員

※県庁①では生活用品、県庁②では学用品を初めて受入れ

3R研究開発事業費補助金・ 循環型産業施設整備事業費補助金

◎ 交付決定事業（※外部委員による評価委員会審査）

【研究開発】

- ① こめ油製造時における産業廃棄物削減のための脱脂米糠等のコンポスト化

【施設整備】

- ① 使用済み自動車由来の廃ガラス（ELVガラス）の破碎施設の導入による、ガラスの再利用の促進
- ② 飼料の製造過程で発生する有機汚泥の脱水処理設備の導入による、汚泥の減容化

リサイクル認定製品展示会

◎ 背景

- ・リサイクル認定製品の利用拡大に向け、製造事業者の声を聞いたところ、「商談会等よりも、一般県民へのPRが先」との意見が多かったため、展示会を企画
- ・展示会会場は、常態的に来店者の見込める大型商業施設等とし、内陸会場と庄内会場の2か所で開催

◎ 開催日及び場所

- ・令和5年9月16日～18日（週末3日間）
イオンモール天童（天童市芳賀タウン）
- ・令和5年11月3日～5日（週末3日間）
イオンモール三川（東田川郡三川町猪子）

◎ 内容

- ・全認定製品の紹介パネル展示、一部製品のサンプル展示（天童：54製品、三川：56製品）
- ・職員による案内、説明
- ・民生品（木材の端材を利用したキーホルダーやマグネット）の製造事業者による即売
- ・フードライブ活動に関するパネル展示・ミニ講演会

◎ 成果等

- ・来場者 イオンモール天童：1,014人
イオンモール三川：810人 計 1,824人
- ・職員の説明を熱心に聞かれる方が多く、また、親子での来場も目立った



とびしまクリーンツーリズム

◎ 背景

海岸の清掃体験、海ごみ問題に関するグループ討議や座学を行うとともに、スノーケリングなどの飛島の豊かな自然に触れる活動を通じて美しい自然と豊かな海を守ることの大切さを理解し、海ごみ問題解決のために参加者が自ら考え、実践につなげていく意識の醸成を図る

◎ 開催時期

令和5年度は、4年ぶりに現地開催とし、令和5年7月から8月に計5回開催（うち2回は荒天により定期船が欠航したため、飛島ではなく本土（酒田市内）での事業実施となった）

◎ 対象

県内の小学5年生から中学2年生までの子どもとその保護者

◎ 主な内容

- ・海ごみ講座（海ごみ問題について写真や映像で説明）
- ・海ごみビンゴ（海ごみで行うビンゴゲーム）
- ・海岸清掃体験（海岸清掃を体験）
- ・グループ討議（海ごみ問題についてグループ討議）
- ・スノーケリング等※（飛島の豊かな自然に触れる）
※飛島のみ（本土では実施しない）

◎ 成果等

- ・参加者 38組 76人

